

私の提案 さと 祐仁

深刻な不況のもとで、西陣を守り発展させるための緊急かつ抜本的な施策が求められています。ぜひ、みなさんのご意見をお聞かせください。

1 すべての西陣関係者の知恵と力を集めて振興策を策定 企業誘致補助なみの財政投入を

西陣振興のために研究者、地域住民、業界、働く人たちの知恵と力を集めて、産業と地域再生を考え実行する「西陣地域経済振興協議会」(仮称) を設置し、抜本的な振興策を実行することが急がれます。

そのためにも、積極的な財政投入が必要です。府には、大企業の誘致には最高で一社当たり 20 億円の補助金を出す制度がありますが、西陣や伝統産業にこそ思い切った「制度」が必要です。そうしてこそ京都全体の地域経済再生に結実します。

2 個人消費の拡大、暮らしを豊かにして和装需要拡大を

長引く不況が「売れない」最大の原因です。大企業が 200 兆円以上溜め込んでいるその一部を雇用と社会保障にまわせば消費者の懐をあたため和装需要の拡大につながります。

3 西陣をいっそう困難な事態に追い込む消費税増税にきっぱり反対

消費税が導入されてから西陣は急速に落ち込んでいきました。民主党政府は、大企業には大幅な法人税減税を行うとともに、その負担を消費税の増税でまかなおうとしています。

西陣を守るためにも、消費税増税反対の立場でがんばります。

西陣織は京都が京都であり続ける大事な財産

住民の声を聞き 西陣の産業と町を守ることは行政の大事な役目

これまでもこれからも西陣を守り発展に全力をあげてきました

京都の共産党の発祥の地は西陣、87 年前に西陣労働者や清水焼労働者が集まって誕生し、一貫して西陣とともに歩んできました。厳しい弾圧と戦いながら反戦平和の旗を守りぬき、「西陣で生まれた共産党が西陣を救った」と言われた「工場再配置促進法」反対のたたかい、帯やネクタイの海外生産の実態を明らかにさせ、輸入にストップをかけさせこと、消費税導入反対など、西陣を守るためにたたかってきたのが日本共産党です。

西陣産業は京都の地域経済、雇用、観光を支える重要な産業

西陣織は、歴史にはぐくまれた、京都が世界に誇る織物であり、文化であり京都の地域経済と雇用を支える重要な産業です。関連業種が多く、京都の雇用と地域経済に大きく役割を果たし、先端産業にも応用されるなど、西陣織の技術は京都の製造業が持つ優位性、強さの基盤となってきました。

それだけではありません。京都が日本人の心のふるさとと呼ばれ、多くの観光客が訪れてくる魅力の一つが「西陣」の存在です。観光の観点からも、「西陣」の存在と名前が生み出す経済効果は莫大なものがあります。

西陣産地への支援強化は緊急の課題

私は、京都府と京都市が協力して、抜本的な西陣の振興策と緊急対策を立案、実行することが必要だと考えています。京都経済の復興をはかり、京都のイメージを世界に発信し続ける上でも、伝統和装産業、産地西陣の再生は行政にとっても重要で緊急な課題であることは明白です。

ところがこの間、府と市がとってきた施策は、西陣対策費は年間で1億円程度にとどまり、さらに技術研修や後継者育成に重要な役割を果たしてきた市染織試験場や住民や労働者の各種活動の拠点となってきた府の職業能力開発支援センターを廃止するなど、西陣振興とはまったく逆行するものです。私は西陣を守り発展させるために、府や市の果たす役割を含めた抜本策を提案し、みなさんの議論を呼びかけるものです。

いま急がれること 8つの緊急対策

①最低賃金のガイドラインを 生活維持のために緊急補助金を

西陣織従事者の多くが最低賃金以下の水準です。府や市がガイドラインを定め、業界団体に強く働きかけ遵守させる指導を強めます。

厳しい不況のもと、いま多くの企業が仕事のない労働者に対して「雇用調整助成金」を活用して、賃金の一定の補償を行なっています。ところが、これは雇用保険の制度であり、多くの西陣で働いている人たちには適用されません。伝統産業や西陣織従事者に対する独自の所得保障制度を実現させます。

②西陣織に携わる後継者の育成を

若い人が西陣織をめざしても、生活できないために離れていく例が増えています。金沢市では研修者に月10万円、事業者にも月6万円をそれぞれ三年間交付する後継者育成制度があります。技術習得を援助するために、後継者とそれを育成する業者に支援制度を作ることが必要です。

③枯渇している道具類や人材確保の緊急策を

織機部品の再利用や道具類の確保、メンテナンスの人材確保が必要です。機料品店や業界団体とも相談、協力しあって、府市連携で道具類場バンク(仮称)の設置と人材育成を図ります。

④海外生産の横行にストップ 原産国表示の厳格化を

海外で製織されても一部の加工が日本ということで「日本製」とされるネクタイなどが横行しています。海外での生産が明確になるように表示を変えさせます。

⑤販路拡大へ行政が積極的イニシアチブを 世界に「西陣」の情報発信を

西陣織の素晴らしさを他府県や世界に思い切って発信し、京都をきものの都として着用の機会を思い切って広げます。販路拡大へ流通経路の拡大に取り組みます。茶やお花が学校教育に積極的に位置づけられ

ようとしています。和装を同様に教育に位置づけ「きもの着付け」の学習や着用の機会をはかります。

⑥元染織試験場機能の産地内に復活を

技術支援や新商品開発を支援する元染織試験場の機能を産地内に復活させます。

⑦固定資産税の減免や動力電気代などの固定費補助を

固定資産税や動力の電気代など固定費が中小業者の営業を苦しめています。固定資産税の減免や固定費の補助を実現します。

⑧西陣再生とまちづくりの地元の取り組みに支援を

いま、観光振興と結合した西陣再生とまちづくりが西陣ミュージアム構想として語られています。公開工房の取り組みも積極的に行なわれています。「きものを着て歩く西陣」などの取り組みや商店街の空き店舗の活用などに大きな支援を行なうことが必要です

アンケートをお配りしています。 ご協力ください。

切手を貼らずに投函してください。